

医薬事業戦略

2023年5月19日

常務取締役 医薬事業部長

西田 健一



目次

1

医薬事業実績報告

2

生産体制の取り組み

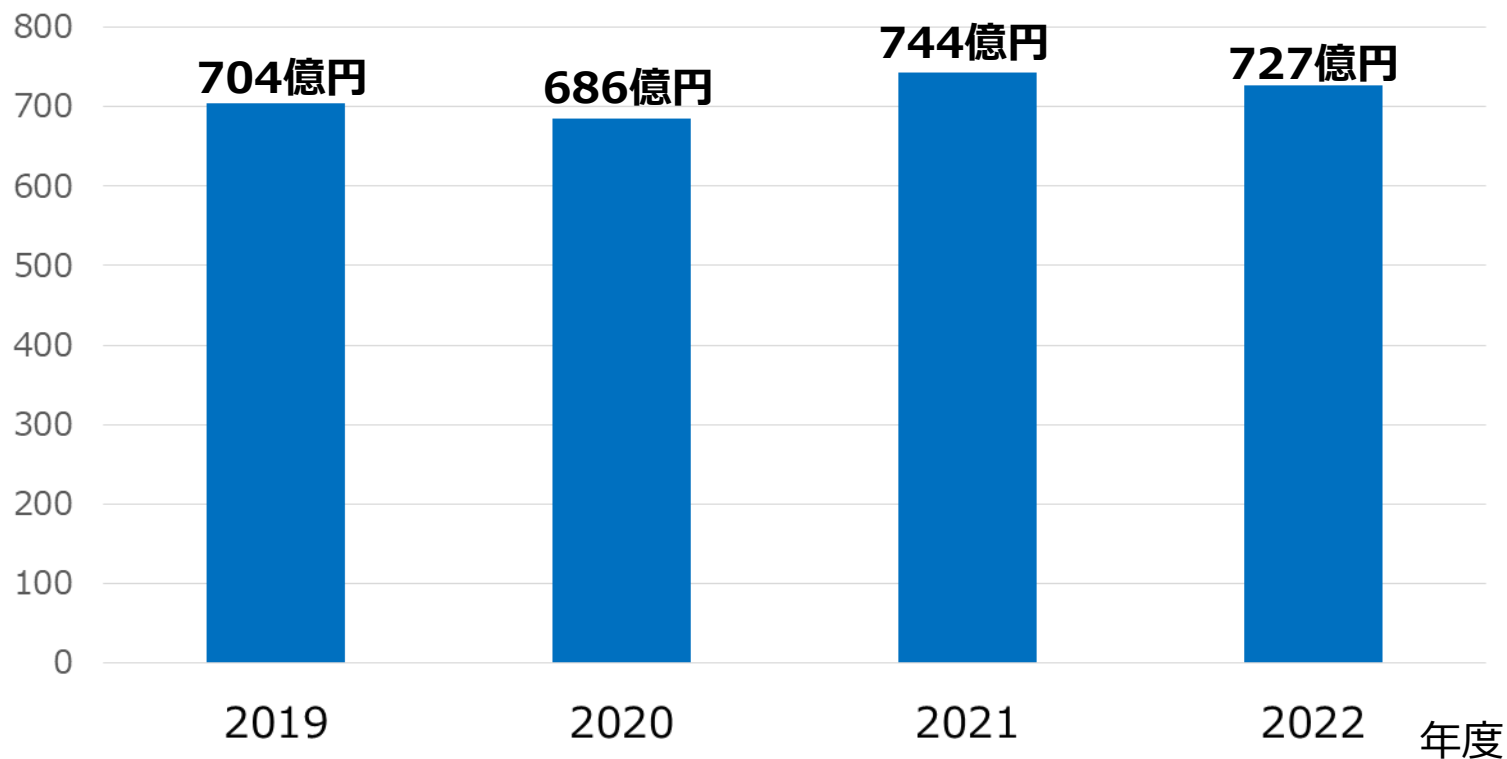
医薬事業各部門 2022年度損益

単位：百万円

	ニプロ医薬事業部 +ニプロファーマG	全星薬品工業	ニプロJMIファーマ	合計
外部売上高	54,386	12,701	5,648	72,735
対前年	95.1%	101.9%	118.7%	97.8%
対期初予想	89.4%	98.5%	106.8%	92.1%
売上総利益	6,289	5,808	3,918	16,015
対前年	57.1%	107.8%	118.9%	81.3%
対期初予想	50.2%	121.2%	106.7%	76.3%
販管費	5,013	2,205	3,182	10,399
対前年	102.4%	90.5%	125.5%	105.4%
対期初予想	87.2%	87.6%	112.2%	93.7%
営業利益	1,277	3,603	736	5,616
対前年	20.9%	122.0%	96.8%	57.2%
対期初予想	18.8%	158.2%	87.9%	56.7%

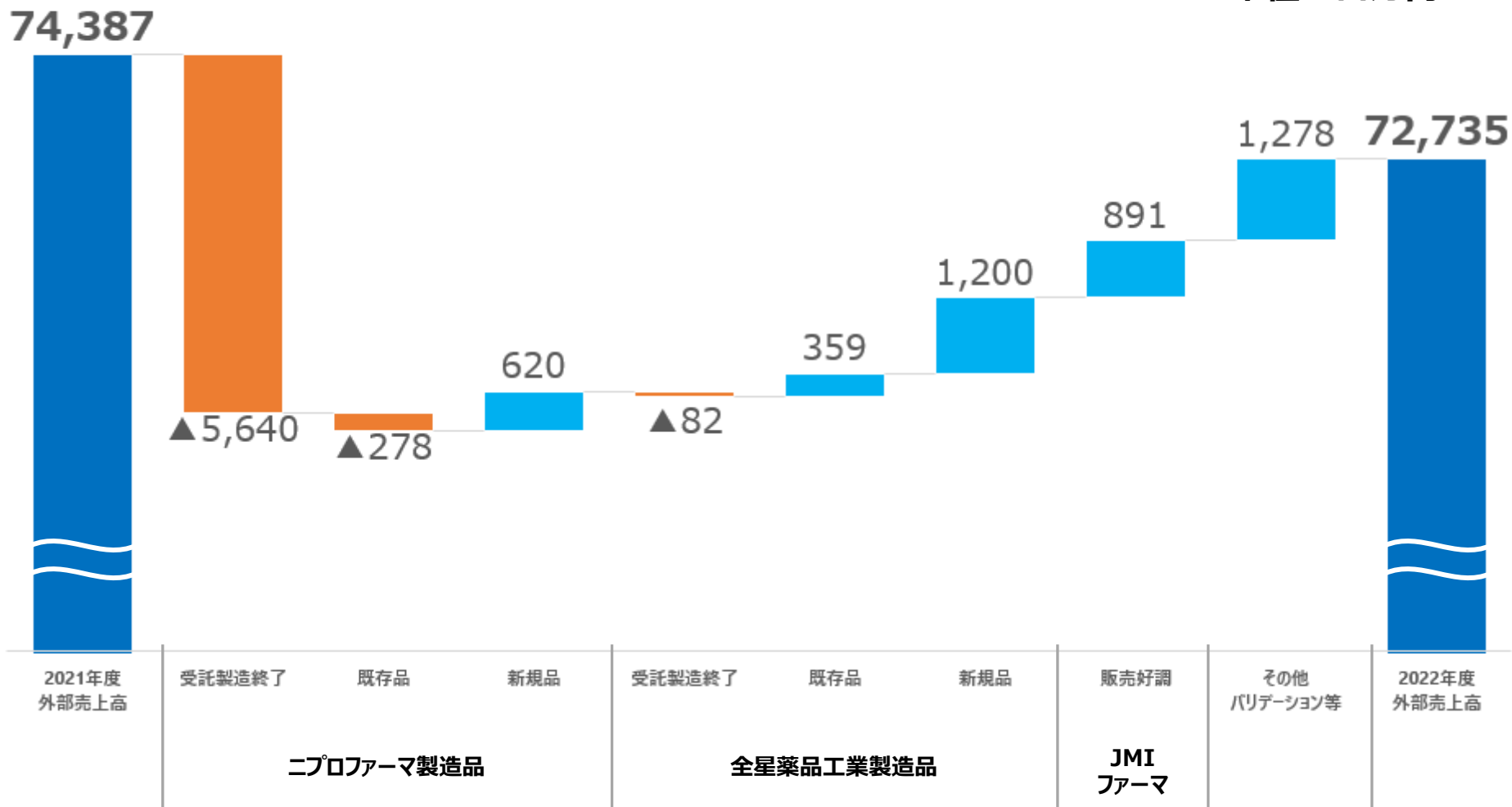
医薬事業部門 外部売上高推移

単位：億円



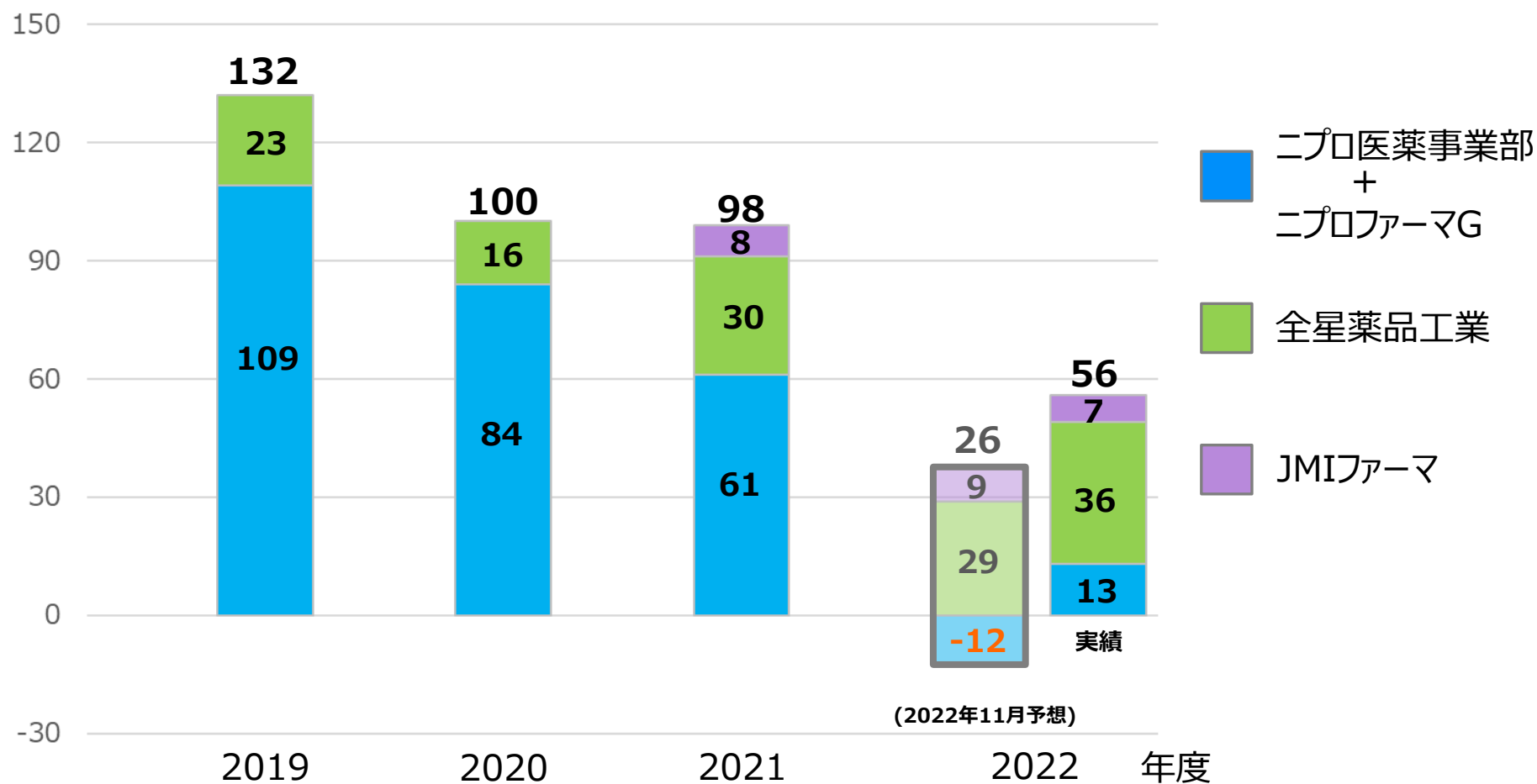
外部売上高の増減要因(対前年)

単位：百万円



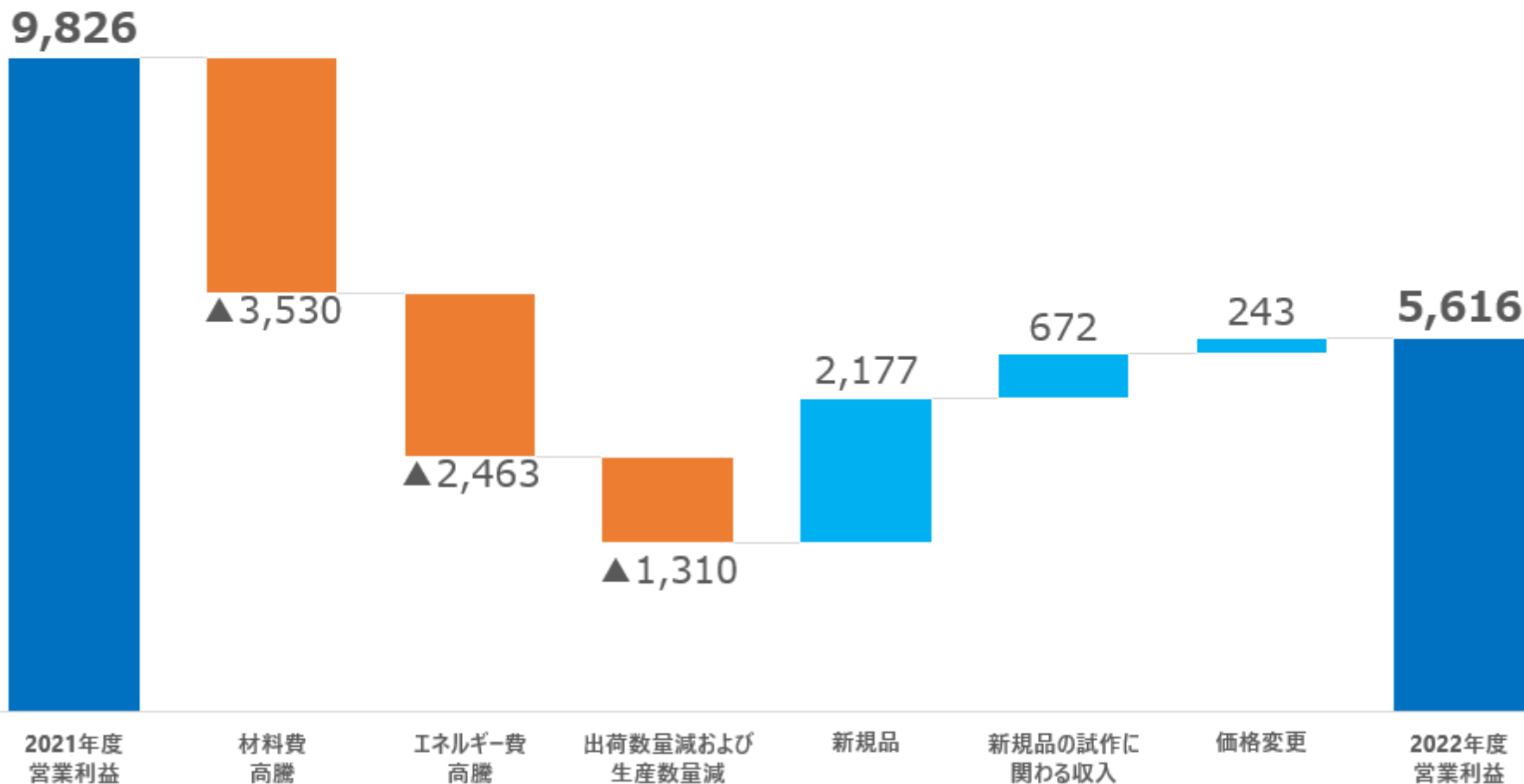
医薬事業各部門 営業利益推移

単位：億円



営業利益の増減要因(対前年)

単位：百万円



医薬事業各部門 2023年度予算

単位：百万円

	ニプロ医薬事業部 +ニプロファーマG	全星薬品工業	ニプロJMIファーマ*	合計
外部売上高	60,864	13,267	5,572	79,703
対前年	111.9%	104.5%	98.6%	109.6%
売上総利益	9,873	5,220	3,732	18,825
対前年	157.0%	89.9%	95.3%	117.5%
販管費	5,927	2,669	3,052	11,648
対前年	118.2%	121.0%	95.9%	112.0%
営業利益	3,947	2,551	680	7,177
対前年	309.2%	70.8%	92.3%	127.8%

* ニプロJMIファーマは、現地通貨ベースでは増収予想

2022年度：1バングラデシュタカ = 1.40円

2023年度：1バングラデシュタカ = 1.25円

ニプロファーマ：近江工場（新工場）

2024年4月

稼働開始(抗菌薬棟)

2026年8月

稼働開始(バイアル棟)



1期工事（抗菌薬棟）

- ✓ サプライチェーン対策のための国内投資促進補助金事業に採択
- ✓ 生産能力：ダブルバッグ 1,000万袋／年

2期工事予定（バイアル棟）

- ✓ ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備補助金事業に採択
- ✓ 生産能力：液バイアル 2,400万本／年
凍乾バイアル 825万本／年

ニプロファーマ：品質管理体制の強化

採用活動に有利な都市圏に試験施設が稼働

✓ 2023年度から品質管理本部を新設

- IT化（LIMS、SDMSなど）の推進による信頼性の確保
- 埼玉QCトレーニングセンターを活用し、新卒者や中途採用者の試験者育成
- 大阪QCセンターをメインの試験実施施設として運用



埼玉QC棟 2023年6月稼働
※QCトレーニングセンターを併設



大阪QCセンター 2024年3月稼働
(旧 ニプロファーマ本社)

全星薬品工業 和泉工場：未実装エリア稼働

年間10億錠の生産キャパシティ増強に向けて、未実装エリアを稼働

✓ 2024年度に年間5億錠(売上高：7.8億円)を増産予定

2022年11月

実装工事着工

2023年4月～2024年度中

設備導入後、順次稼働



製剤：製造室 8室新設

包装：PTP 2ライン新設



PTPライン①：2023年3月末搬入完了

ニプロJMIファーマ：新製造棟の稼働

バイオ医薬品・注射剤(液/凍乾)・歯科用カートリッジ等を新発売



- 2023年08月 設備搬入・IOQ完了
- 2023年12月 商用製品の販売開始

✓ 年間生産能力

バイアル(凍乾)	190万本/年
アンプル	570万本/年
シリンジ	230万本/年
ボトル(液)	150万本/年

✓ 新製造棟での売上予測

(単位：百万円)

